



商工組合中央金庫福島支店  
支店長 花谷 智隆

## 祝 辞

福島県中小企業組合士会の創立40周年、誠におめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

また、常日頃より当金庫業務に対しまして、格別のご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

福島県中小企業組合士会は、創立以来、「組合士制度の普及」「研修・講習会の実施」「会員への情報提供」など多岐にわたる事業を推進されており、白木会長を始め、歴代役職員の皆さまのたゆまぬご努力に敬意を表します。

さて、一昨年からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、対面型サービス業を中心に幅広い業種で深刻な影響が生じました。さらに、相次ぐ自然災害、世界的な半導体・部品の供給不足、資源価格の高騰等に加え、我が国の構造的課題である少子高齢化に伴う国内市場の伸び悩み、後継者難や人手不足、デジタル化の遅れといった懸案事項もあり、中小企業を取り巻く経営課題は、従前にも増して多様化・重層化しています。

福島県に目を転じますと、東日本大震災から10年が経過し、「第2期復興・創生期間」に入りましたが、廃炉に向けた取組みや新しい産業の創出など課題は山積しております。

こうした難しい舵取りが求められる状況においては、中小企業により組織された中小企業等組合の役割がさらに重要度を増すと考えられます。

特に、低炭素経済への移行やデジタル化等の大きな変革を見据えた事業再構築や新事業への進出を目指すには、企業実態を的確に評価しつつ、新しい視点で事業の実行支援を行うことができる人材が一層求められる時代になってきたと感じています。

これらの観点から、専門的な知識を習得した中小企業組合士の活動に対する期待が益々高まることは勿論のこととして、さらに組合士間の交流を通じて、最新情報にアクセスするといった発展的な取組みも重要になってくるものと推察されます。

組織金融機関である商工中金は、中小企業組合士制度の普及にご協力させていただくとともに、職員に対し自己啓発の一環として本資格の取得を奨励してまいります。さらに日頃の業務執行におきましても、組合士の皆さまとのリレーションを一層強化し、地域金融機関や外部専門機関との連携・協業も行いながら、中小企業等組合ならびに組合員が抱える多様な経営課題の解決をサポートしてまいります。

最後になりますが、福島県中小企業組合士会の今後益々のご発展と、会員各位のご健勝を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。